



春 江 だ よ り

3 月 号

令和6年3月1日（金）

希望の春に向かって

校長 小林 麻子

例年になく暖冬となり、2月は20度近くまで気温が上がる日もあり、ニュースになりました。そのような中、2月15日から17日まで5年生と共にウインタースクールで新潟県魚沼市に行ってきました。現地の方の話では、例年1メートル以上積雪があるところ45センチということで心配をしていましたが、ゲレンデはほぼ雪化粧で、子供たちは興奮の中スキーの学習を十分楽しみました。



5年生にとっては初めての宿泊行事となりましたが、友達と共に生活をするにあたり、「自分の役割をしっかりと果たすこと」をめあてとし、生活班での係の仕事に前向きに取り組む姿が見られました。失敗したり、うまくいかなかったりすることもありましたが、次にどう行動するか考え、協力しながら前に進むことができました。5年生の成長を感じた3日間でした。

また、先日は生活科で1年生が幼稚園児、保育園児を学校に招待し、交流しました。自分の席に座ってもらい、鉛筆の持ち方や線のなぞり方を寄り添いながら丁寧に教える1年生の姿が微笑ましく、入学した頃に比べて成長を強く感じました。

その他の学年の児童も1年間で、学習面、生活面で様々な成長が見られました。残りの1か月、子供たち一人一人が1年間を振り返り、進級、進学に向けて夢や希望をもてるようにしていきたいと思います。そしてその実現に向けて自分はどうしていくかを考えて目標を立て、チャレンジし努力してほしいと思います。学校は、1年間の教育活動を振り返り、子供たちの笑顔のためにより良い教育活動を行えるよう、次年度に向けて計画を立てています。子供たちのやる気を引き出し、良い学びにつないでいけるよう、教職員一同努力してまいります。

来る3月22日の卒業式をもって6年生は、小学校生活を終えることになります。先日行われた6年生を送る会では、全校児童が一同に会し、6年生への感謝の気持ちと卒業のお祝いの気持ちを表しました。5年生への引継では、これからの春江小を率いていく5年生に熱く語りかけていました。5年生児童は6年生の思いを受け止め、全校児童をしっかりとまとめ、温かい学校生活をつくっていくに違いありません。受け継がれていく学校風土。歴史と伝統は確実につながっています。

6年生は卒業に向かって一つ一つの行事に心を合わせて取り組み、小学校の集大成を迎えようとしています。1年生から5年生の児童は、自分の成長を振り返り、進級への期待を膨らませています。全校児童の心を一つに、希望の春に向かって準備をしっかりと行っていきます。

今年度も保護者、地域の皆様の多大なるご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。